

企業名 有限会社シロタ シロタ食品

HP

代表者名：城田 今里
住 所：富士宮市人穴488
電話/FAX：(0544) 54-0585 / (0544) 54-2505

竹の子への思い

人穴で食品加工業を営んでいる(有)シロタ(通称「シロタ食品」)さんを訪ねました。

社長の城田氏は以前、「富士環境サービス」を営み、主に土木、ビル管理を生業にしておりましたが、リーマンショック以降社会環境の変化に伴い食品加工へと業種を変更。(有)シロタを立ち上げ、朝霧の観光施設を中心に加工品の製造、卸しをはじめました。元々の食への関心と、開拓者であった母親の作る料理の他にない味わいを商品化することから始まり、妻の出身地青森のニンニクと長野の味噌を合わせた「スタミナ味噌」や「キクイモチップス」等を製造する一方、根原の農地を借用し、根原大根の生産、販売、3年程前からはイオン富士宮店に出荷も始めました。

城田氏は、北部地域の素材を活かした加工食品の開発や、農産物の生産も手掛けており、特に今は、竹林整備を行い、富士宮産の良質な竹の子の栽培に力を入れています。それは、全国的に竹藪の荒廃が進み、「放置竹林」が問題となっており、市内でも至る所に放置竹林が見うけられるため、早く竹林整備をしないと荒廃地になってしまう恐れがあるとの思いからです。竹林整備を数年経験し、整備された竹林とそこで生産される竹の子、そして加工品へと生産の流れが出来ていくことが豊かな食と環境が調和された富士宮となってきます。

最近では、地元の孟宗竹の竹の子の柔らかい先端部分“姫皮”のみを甘酢漬けにした「酒の姫皮」を商品化し、静岡県での経営革新として承認されました。

今後も、富士宮北部にこだわり、地元が元気になるアイデアや商品開発を期待しています。
(吉野達也)



酒の姫皮



スタミナ味噌

詳細はこちら(WEB商工名鑑へ)